

2020年9月期 決算説明



株式会社 丸山製作所
代表取締役社長 内山剛治

目次

- 2020年9月期 業績概要 P.2
- 第7次中期経営計画 P.10
- 2021年9月期 業績予想 P.20
- 参考資料 P.26
会社概要 財務諸表 等

2020年9月期 業績概要

.....

【2019年10月1日～2020年9月30日】

2020年9月期 業績概要

単位： 百万円	2019年9月期 実績		2020年9月期					
			当初予想		実績			
	金額	売上高 構成比	金額	売上高 構成比	金額	売上高 構成比	前期比	予想比
売上高	36,177	100.0%	37,000	100%	34,895	100%	△3.5%	△5.7%
営業利益	434	1.2%	700	1.9%	852	2.4%	96.3%	21.7%
経常利益	399	1.1%	600	1.6%	763	2.2%	91.1%	27.2%
当期純利益	301	0.8%	400	1.1%	648	1.9%	115.1%	62.0%
為替レート 米ドル			105円		109円			
為替レート ユーロ			120円		124円			

国内外共に、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済が急減速し、厳しい状況となり、売上高は前期比3.5%減。しかしながら製造経費や販売管理費の削減に努めた結果、営業利益は前期比96.3%増、経常利益は前期比91.1%増。

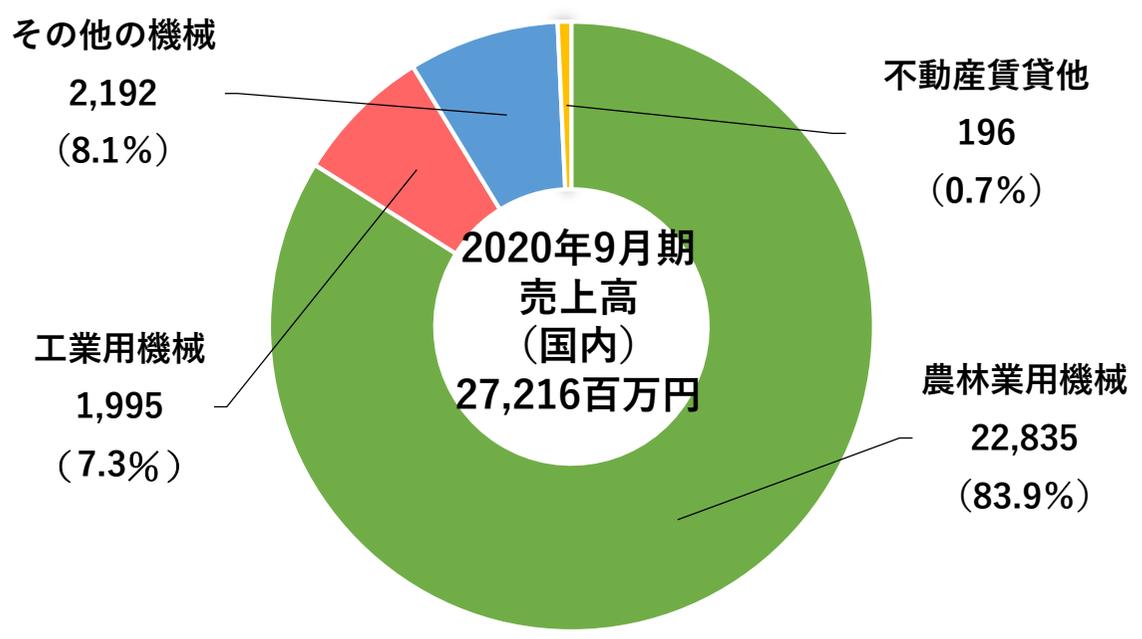
セグメント別 業績概要

単位： 百万円	2019年9月期			2020年9月期				変動要因
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益	営業利益 構成比	
農林業用 機械	27,291	74.8%	501	26,433	75.1%	1,034	41.9%	国内：大型防除機の減少 海外：大型防除機、刈払機 の減少
工業用 機械	6,488	17.8%	1,119	6,067	17.2%	1,020	41.4%	国内：工業用ポンプの減少 海外：工業用ポンプの減少
その他の 機械	2,200	6.1%	96	2,199	6.3%	131	5.3%	
不動産賃貸他	507	1.4%	293	488	1.4%	282	11.4%	
調整額 (セグメント 間取引)	△309	△0.8%	△1,576	△293	△0.8%	△1,615	-	
合計 (うち海外)	36,177 (8,701)	100.0% (24.1)	434	34,895 (7,679)	100.0% (22.0)	852	-	

農林業用機械：大型防除機の減少のため減収となるも、営業利益は前期比106.3%増。
 工業用機械：工業用ポンプの減少のため減収減益。

セグメント別 売上高 (国内)

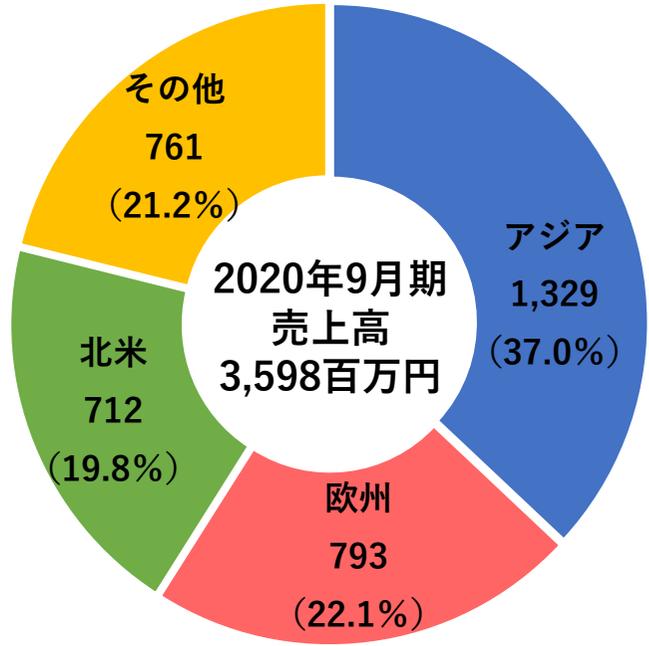
単位：百万円	2019年9月期		2020年9月期		
	売上高	売上高構成比	売上高	売上高構成比	前期比
農林業用機械	22,870	83.2%	22,835	83.9%	△0.2%
工業用機械	2,210	8.1%	1,995	7.3%	△9.7%
その他の機械	2,197	8.0%	2,192	8.1%	△0.2%
不動産賃貸他	197	0.7%	196	0.7%	△0.5%



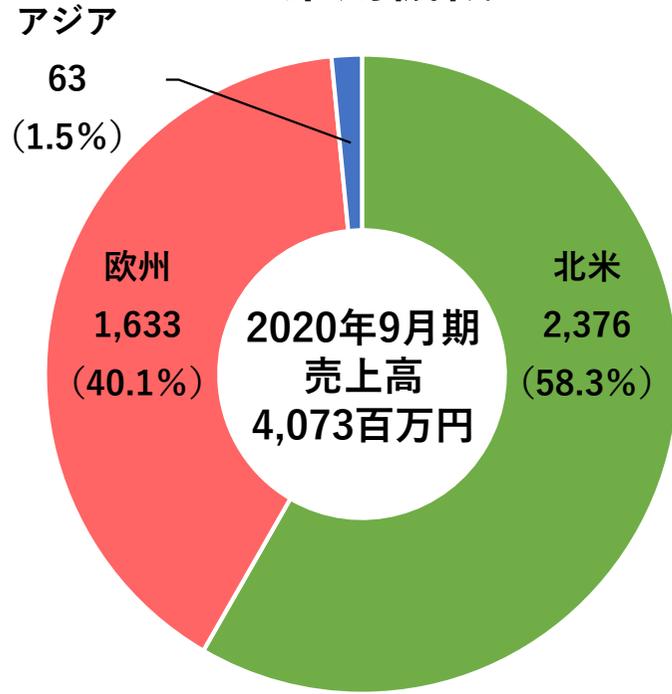
セグメント別 売上高 (海外)

単位：百万円	2019年9月期		2020年9月期		
	売上高	売上高構成比	売上高	売上高構成比	前期比
農林業用機械	4,421	50.8%	3,598	46.9%	△18.6%
工業用機械	4,277	49.2%	4,073	53.1%	△4.8%

農林業用機械



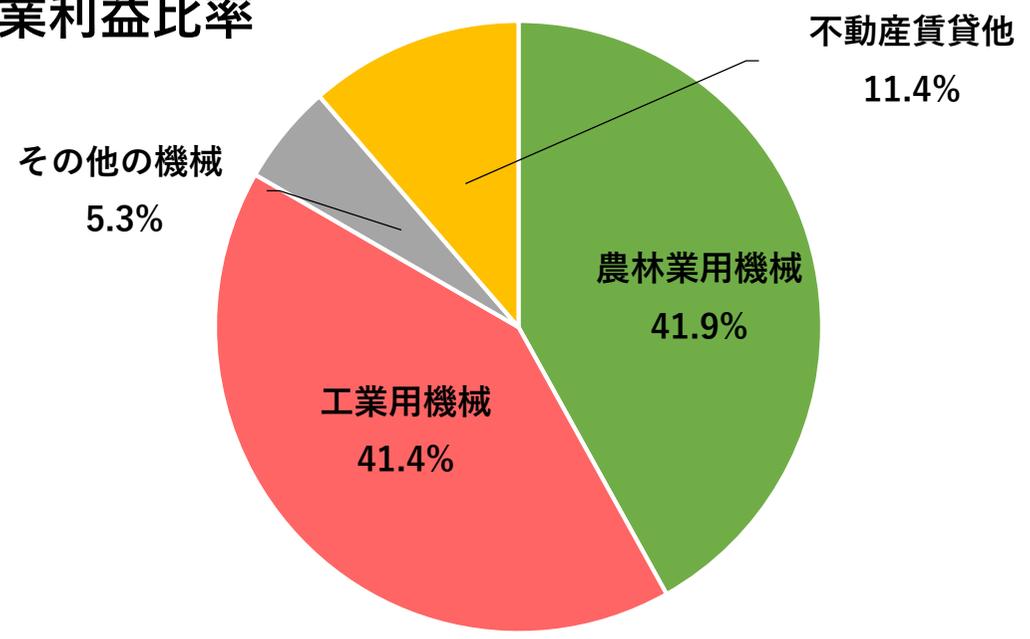
工業用機械



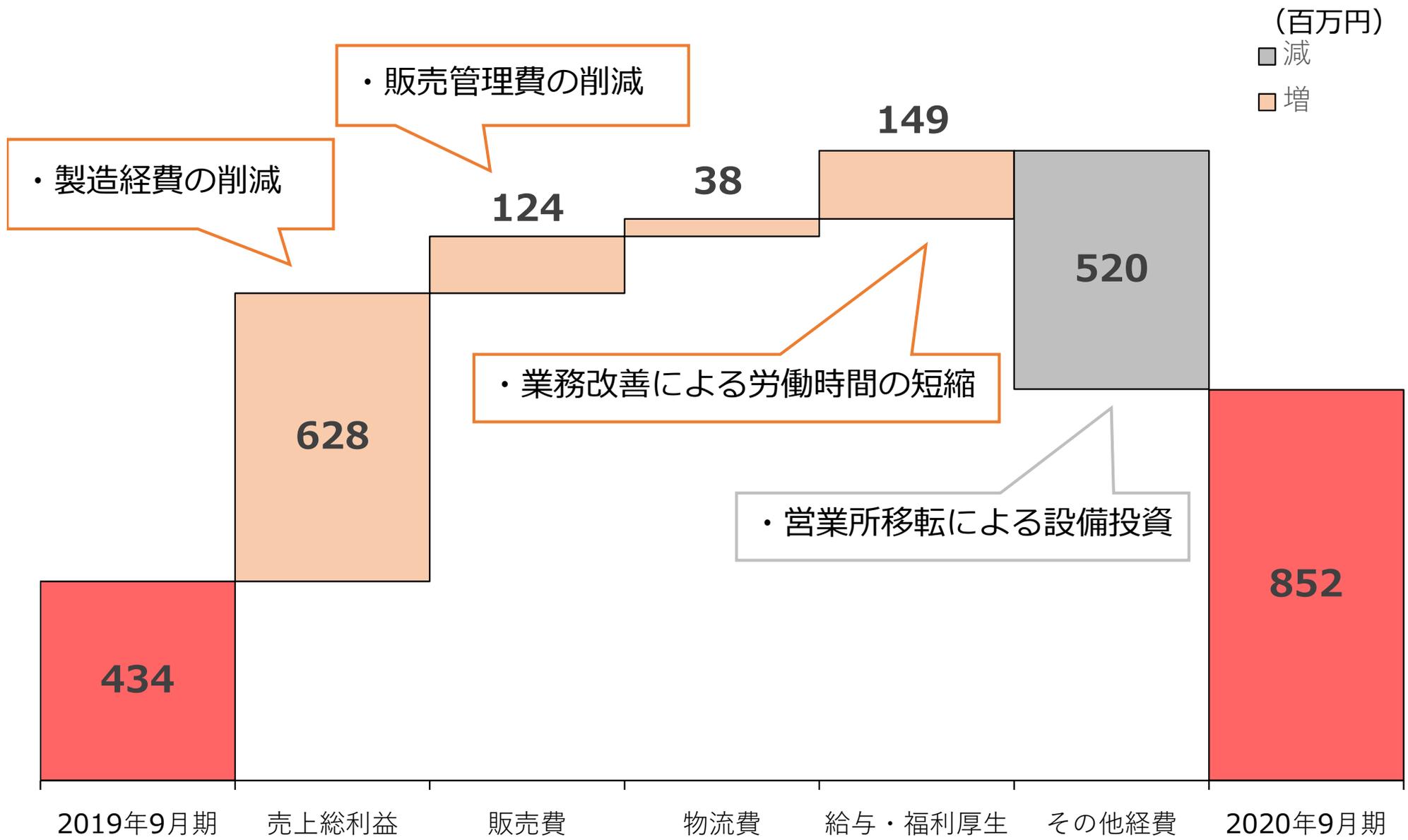
セグメント別 営業利益

単位：百万円	2019年9月期		2020年9月期		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	営業利益 構成比	前期比
農林業用機械	501	24.9%	1,034	41.9%	106.3%
工業用機械	1,119	55.7%	1,020	41.4%	△8.9%
その他の機械	96	4.8%	131	5.3%	36.4%
不動産賃貸他	293	14.6%	282	11.4%	△3.7%

営業利益比率



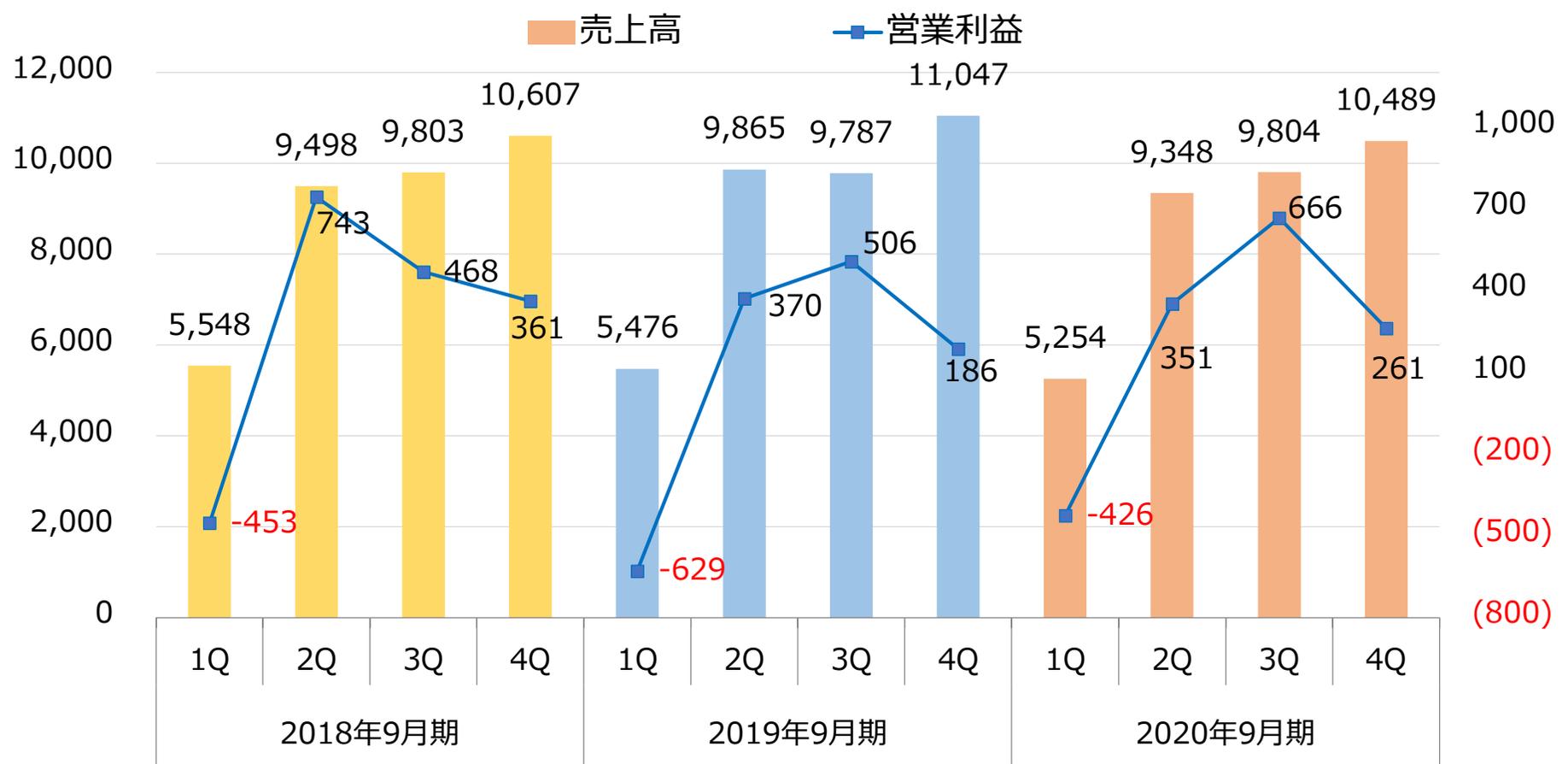
2020年9月期 増益分析（営業利益）



売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

売上高は前期比△3.5%ながら、営業利益は前期比96.3%増

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、
売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。



第7次中期経営計画

.....

【2020年9月期～2022年9月期】

事業を取り巻く環境

事業へ影響を与える主な環境変化

マクロ 環境

- ・ 国内：少子高齢化
- ・ 海外：水不足・食料問題
- ・ 国内外：自然災害多発

ビジネス 環境

- ・ 国内：農家人口の減少
- ・ 海外：新興国の発展

市場 環境

- ・ 国内：スマート農業の登場
- ・ 海外：大型防除機の需要高
- ・ 国内外：感染症対策需要高

機会

【国内】

- ・ 担い手集約・大規模化による大型機械事業の促進
- ・ スマート農業製品の開発・販売
- ・ ウルトラファインバブルの販売拡大

【海外】

- ・ 大型防除機を中心にアジア各国への販売強化
- ・ 工業用機械部門で新製品の投入

【国内外】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として除菌用機械の投入

中期経営計画の修正(2022年9月期)

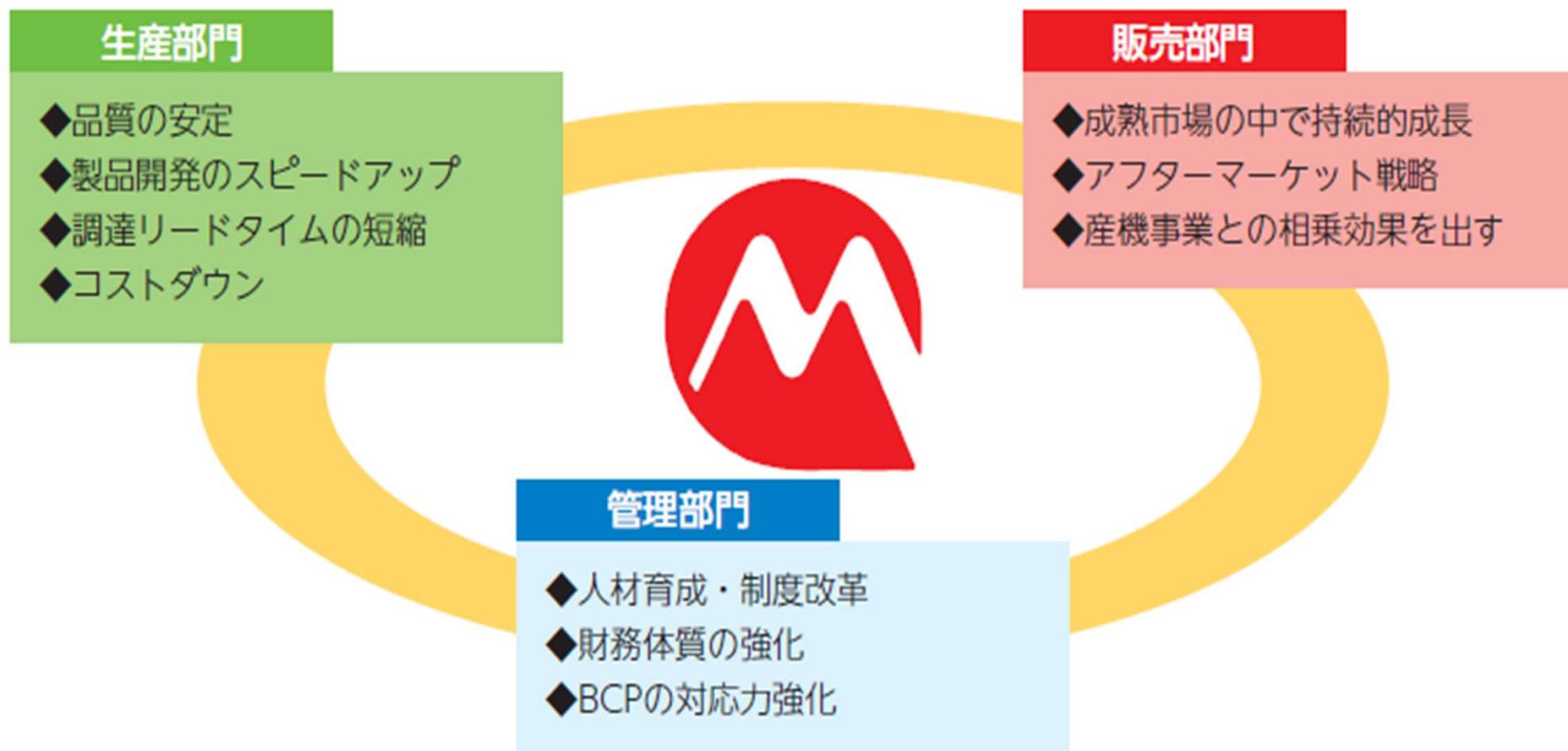
単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 目標値	2022年度 目標値 (修正後)	中計20-22 2022年度 (当初目標)
売上高	34,895	35,500	36,500	38,000
営業利益	852	950	1,200	1,200
経常利益	763	880	1,130	1,100
当期純利益	648	650	820	750
ROE	4.0%	-	4.5%以上	4.5%以上

- ・国内外での新型コロナウイルス感染症の影響により、経済が急速に悪化し、極めて厳しい状況が続いております。
- ・当社グループは2020年11月12日に経営数値目標の**売上高を36,500百万円に修正**しております。
- ・**営業利益及び自己資本利益率（ROE）の目標値に変更はありません。**

最終年度業績予想 (2022年9月期)

単位：百万円	2020年9月期 実績		2022年9月期 予想		
	金額	売上高構成 比	金額	売上高構成 比	2020年比
売上高	34,895	100.0%	36,500	100%	4.6%
営業利益	852	2.4%	1,200	3.3%	40.8%
経常利益	763	2.2%	1,130	3.1%	48.1%
当期純利益	648	1.9%	820	2.2%	26.5%

収益の改善



イノベーションを巻き起こす



産機事業を伸ばす

- ◆MUFB製品をはじめとした製品戦略の強化
- ◆付加価値の高い完成品を販売



海外事業を伸ばす

- ◆現地のニーズに適した製品を開発
- ◆販売チャネルの構築



スマート農業への進出

- ◆大型機械、ドローン、バッテリー製品の研究開発、品揃え強化
- ◆ソフト、システム、サービス技能の習得
- ◆異業種企業との提携・連携



サービス事業を伸ばす

- ◆アフターマーケットの拡大
- ◆市場、需要の変化に敏感に対応
- ◆サービス組織の充実
- ◆エンドユーザー情報の把握

産機事業を伸ばす



健康・環境配慮
丸山ポンプテクノロジー



M U F B (ウルトラファインバブル) の活用

ウルトラファインバブルとは・・・

1μm以下の微小な泡

■ 抜群の洗浄能力

- ① 洗剤なしでも洗濯ができる
- ② 細菌・ウイルス・悪臭を破壊

■ 生理活性効果

- ① 植物や養殖魚の生育を促進



洗 浄

- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩作業の効率が良くなった



水 産 業

- ・養殖魚が短期間で大きくなった
- ・鮮度が長く保たれるようになった



農 業

- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量が増え甘さも増した



ファインバブル活用事例集を基に当社作成 : https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

スマート農業への進出

車両情報を衛星により把握し、圃場内において高精度な自動操舵を実現



2021年9月期 業績予想

.....

【2020年10月1日～2021年9月30日】

2021年9月期 業績予想

単位：百万円	2020年9月期 実績		2021年9月期 予想		
	金額	売上高構成比	金額	売上高構成比	前期比
売上高	34,895	100%	35,500	100%	1.7%
営業利益	852	2.4%	950	2.7%	11.4%
経常利益	763	2.2%	880	2.5%	15.3%
当期純利益	648	1.9%	650	1.8%	0.2%
為替レート 米ドル	109円		105円		
為替レート ユーロ	124円		125円		

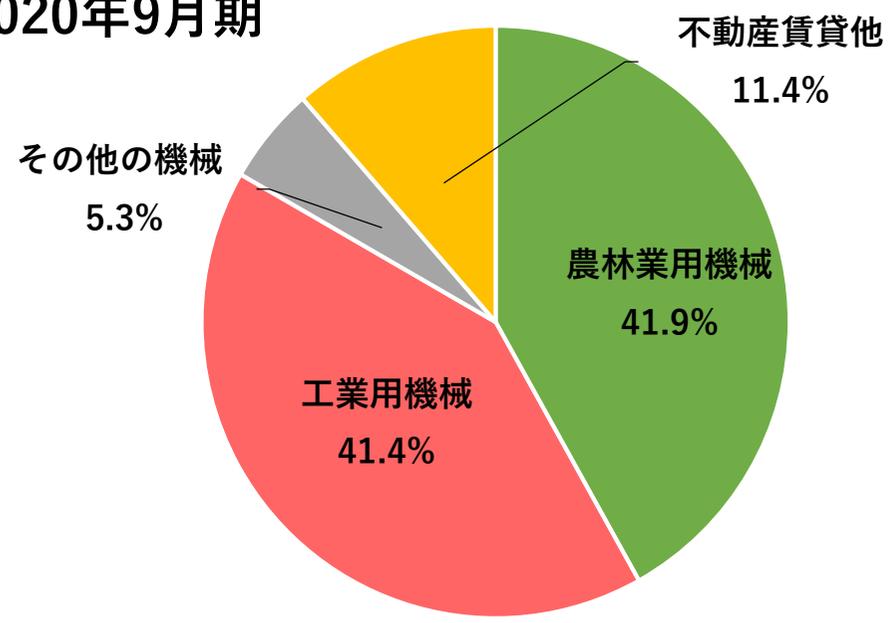
2021年9月期 セグメント別業績予想

単位： 百万円	2020年9月期 実績			2021年9月期 予想		
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益
農林業用機械	26,433	75.1%	1,034	26,800	75.5%	1,040
工業用機械	6,067	17.2%	1,020	6,300	17.7%	1,100
その他の機械	2,199	6.3%	131	2,200	6.2%	130
不動産賃貸他	488	1.4%	282	490	1.4%	280
調整額 (セグメント 間取引)	△293	△0.8%	△1,615	△290	△0.8%	△1,600
合計	34,895	100.0%	852	35,500	100.0%	950

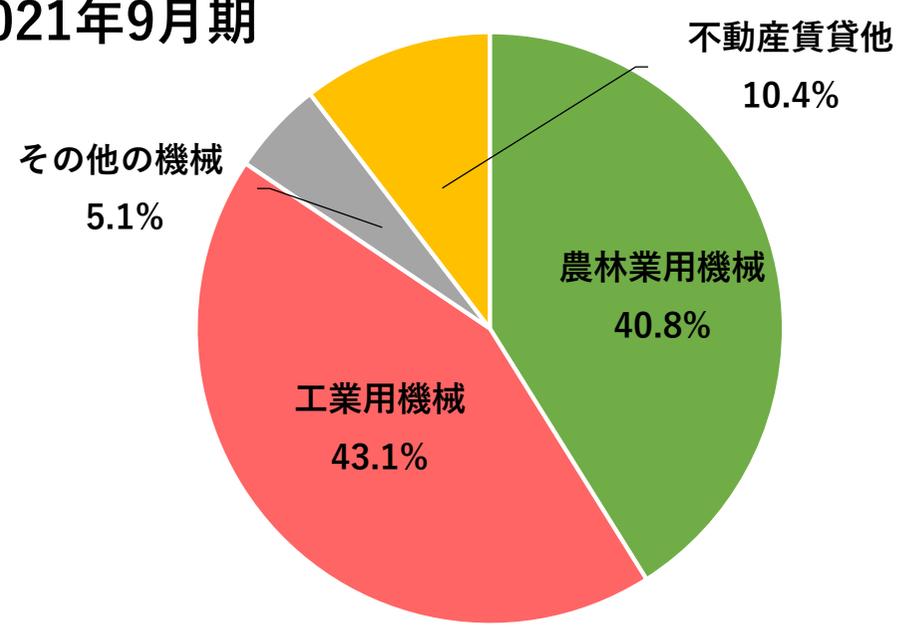
セグメント別 営業利益

単位：百万円	2020年9月期		2021年9月期		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	営業利益 構成比	前期比
農林業用機械	1,034	41.9%	1,040	40.8%	0.5%
工業用機械	1,020	41.4%	1,100	43.1%	7.8%
その他の機械	131	5.3%	130	5.1%	△1.4%
不動産賃貸他	282	11.4%	280	10.9%	△0.8%

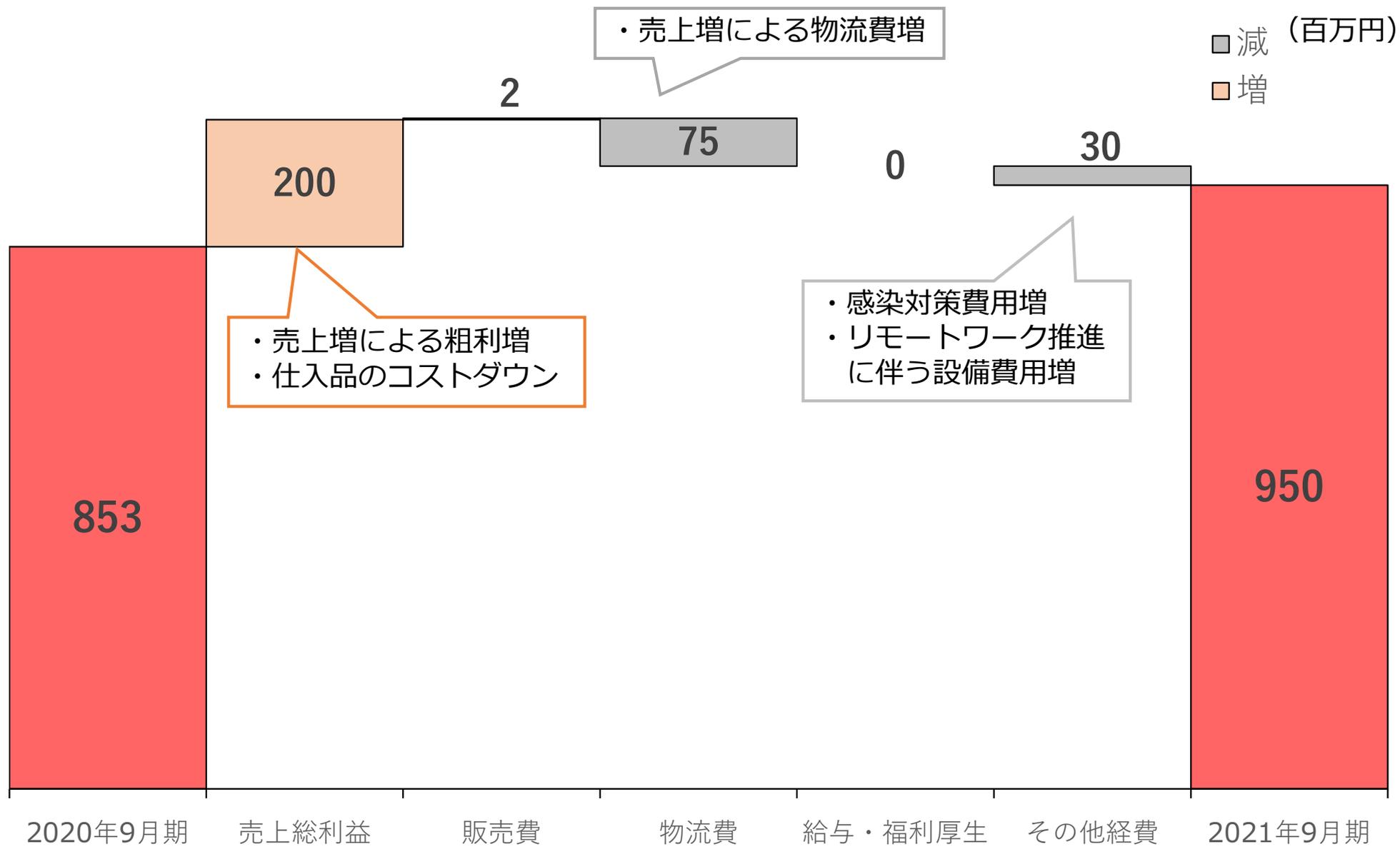
2020年9月期



2021年9月期



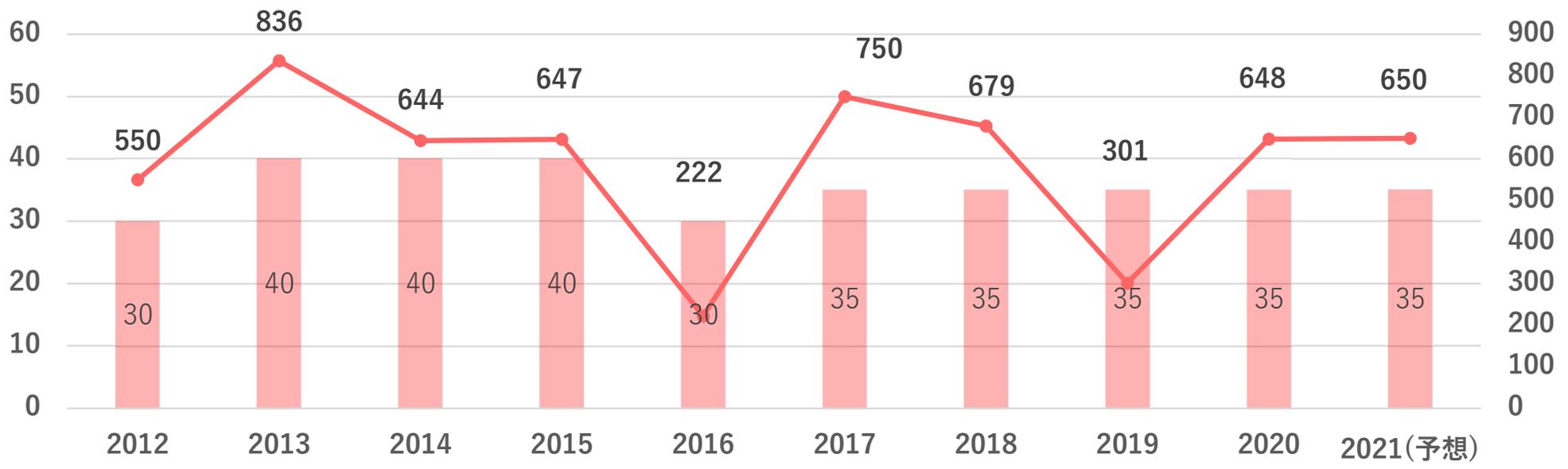
2021年9月期 増減分析予想(営業利益)



株主還元

- ・ 安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。
- ・ 来期の配当予想額は当期と同じ1株につき35円

■ 配当金 ● 親会社株主に帰属する当期純利益



配当性向	27.0%	23.6%	30.5%	30.3%	66.1%	22.9%	25.1%	56.1%	25.7%	25.5%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

参考資料



貸借対照表

電子記録債権および債務の体制強化により、流動比率が向上（前期比+5.8%）

単位： 百万円	2019年9月期末		2020年9月期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	32,894	100.0%	32,733	100%	△161	
流動資産	21,185	64.4%	20,906	63.8%	△279	受取手形、売掛金、その他未収入金の減少
固定資産	11,709	35.6%	11,827	36.1%	118	投資有価証券の増加
流動負債	11,399	34.7%	10,910	33.3%	△489	支払手形、買掛金、電子記録債務の増加 短期借入金の減少
固定負債	5,999	18.2%	5,781	17.6%	△218	長期借入金の減少
純資産	15,495	47.1%	16,042	49.0%	547	期末日にかけての時価の上昇による その他有価証券評価差額金の増加

	2019年9月期末	2020年9月期末
自己資本比率	47.1%	49.0%
流動比率	185.8%	191.6%

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

キャッシュフロー計算書

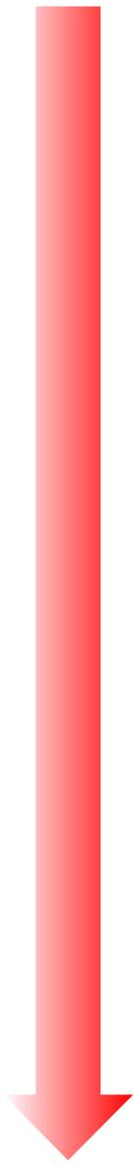
単位：百万円	2019年 9月期	2020年 9月期	前期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	321	4,602	4,281	売上債権の減少、仕入債務の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△719	△829	△110	投資有価証券の売却による収入無し
フリーキャッシュフロー	△397	3,773	4,170	
財務活動によるキャッシュフロー	215	△1,786	△2,001	短期借入金の減少
現金及び現金同等物期末残高	2,107	4,124	2,017	

単位：百万円	2020年9月期	内 容
設備投資	947	営業所の移転に係る建築費用 千葉工場、製造子会社の生産設備の更新
研究開発費	1,039	労務費及び試作研究費
減価償却費	1,107	

会社概要 (2020年09月30日現在)

社名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 尾頭 正伸
本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3丁目4番15号
創業・設立	【創業】 1895年 【設立】 1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	348億95百万円 (2020年9月期)
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	【単体】 594名 【連結】 928名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

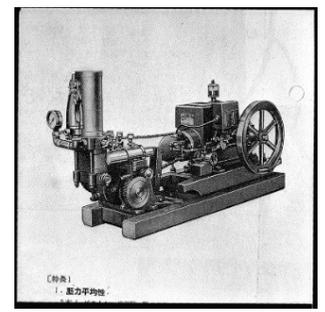
沿革



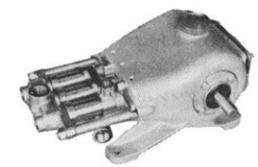
- 1895年** 新潟県高田町にて丸山商会を創業
(日本で初めて消火器を製造)
- 1918年** 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年** 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年** 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年** 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年** 工業用ポンプを開発
- 1977年** 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年** オリジナル2サイクルエンジン開発
- 2000年** 新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004年** 消火剤リサイクル・・・eco消火器を販売
- 2012年** キャビン付ハイクリブームの開発
- 2016年** マルチローター（ドローン）の開発
- 2018年** ハイクリブーム発売30周年を迎える
- 2020年** 創業125周年



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品



当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。

ポンプ & エンジン



当社の強み (製品)

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています



ポンプ製品の農業用防除機で国内トップシェア

海外（北米）でのカーウォッシュ用ポンプでトップシェア



エンジン製品の刈払機でホームセンター流通において国内トップシェア

国内の販売・生産・サービス拠点



物流拠点 (福島)



千葉工場 (東京ドーム3個分の敷地)



- 本社 Headquarters
- 千葉工場 Chiba Plant
- 事業所 Business offices
- 営業所 Sales offices
- 関連会社 Affiliated companies

本社

東京都千代田区

生産拠点

3ヶ所
千葉県東金市 (2ヶ所)
岡山県苫田郡

営業拠点

全国26ヶ所
北海道(札幌・帯広) / 青森 / 岩手 / 秋田 / 山形 / 宮城 / 福島 / 茨城 / 栃木 / 千葉 / 東京 / 新潟 / 長野 / 山梨 / 石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 / 岡山 / 香川 / 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎



西部丸山 (岡山)

物流拠点

3ヶ所
福島県・千葉県・岡山県

関係会社

日本ライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

海外の販売・生産拠点



● MARUYAMA MFG EUROPEOFFICE

- ・ 欧州における市場調査
- ・ 林業用機械の販売促進

- ・ 中国市場向けに農林業用機械の販売

● 丸山（上海）貿易有限公司

● MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD. ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.

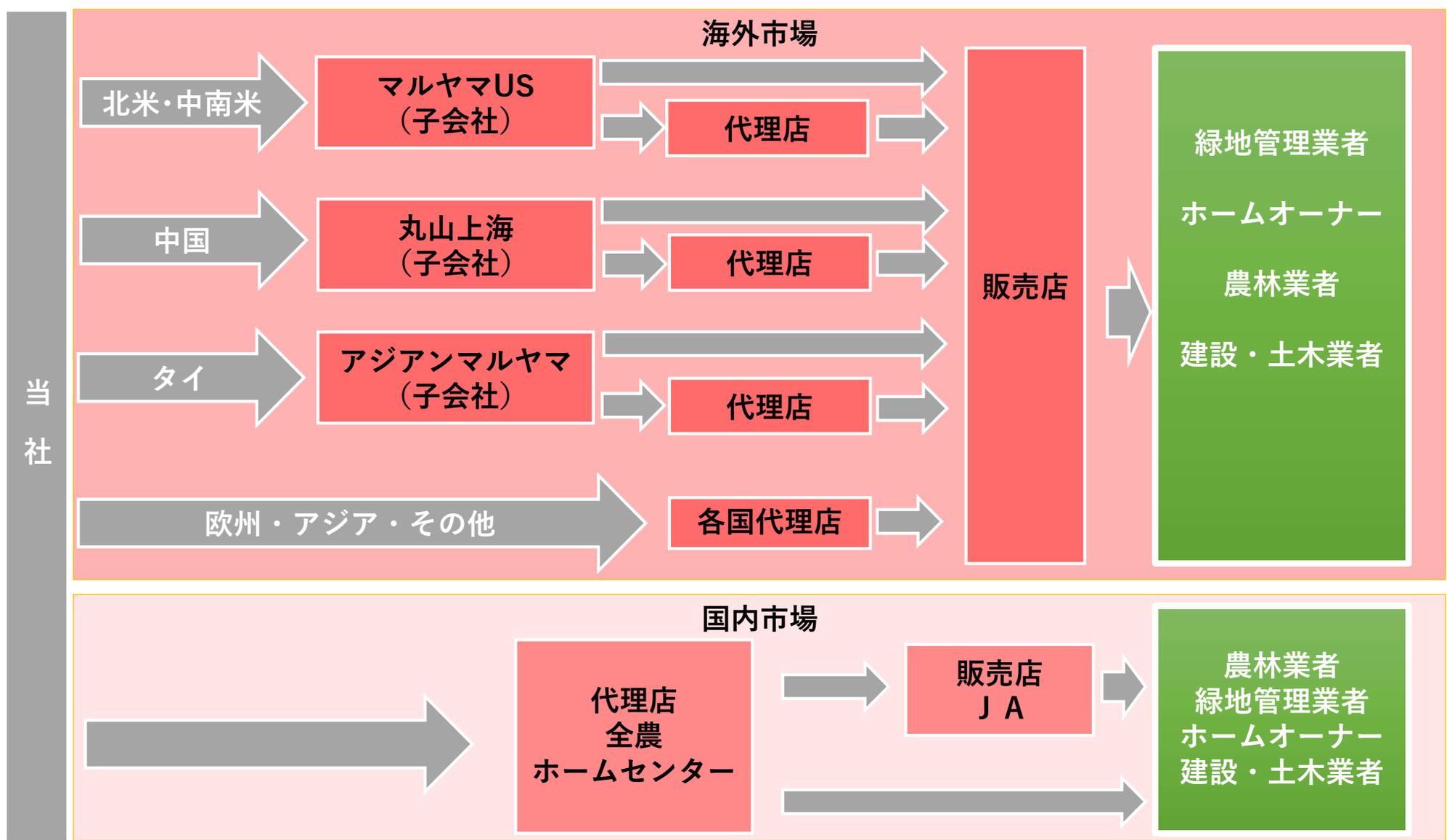
- ・ 農林業用機械の製造・販売
- ・ 東南アジア市場向けを中心に販売



● MARUYAMA U.S.,INC.

- ・ 北米を中心に農林業用機械を販売

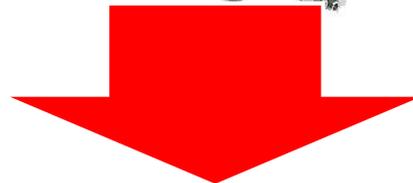
主な販売経路



ポンプを使用した工業用製品



スパウターによる
消臭作業



テーマパークで
使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー

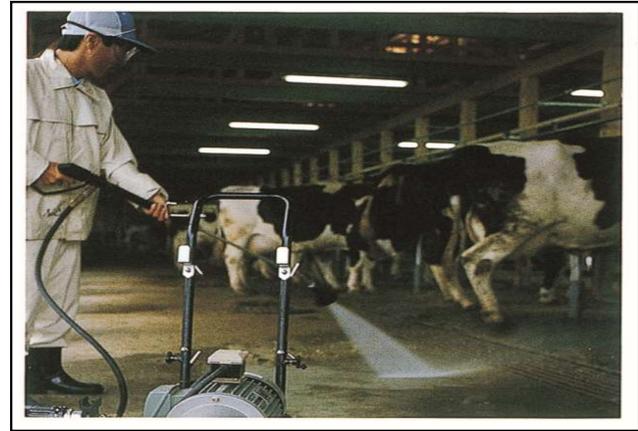
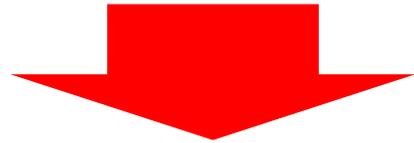


災害時緊急給水RO

ポンプを使用した農業用製品



スタジアムの抗菌
抗ウイルスコーティング



牛舎での除菌作業



背負動力噴霧機

【畑・ビニールハウス】



ステレオスプレーヤ

【果樹園】



ハイクリブーム

【田・畑】



マルチローター

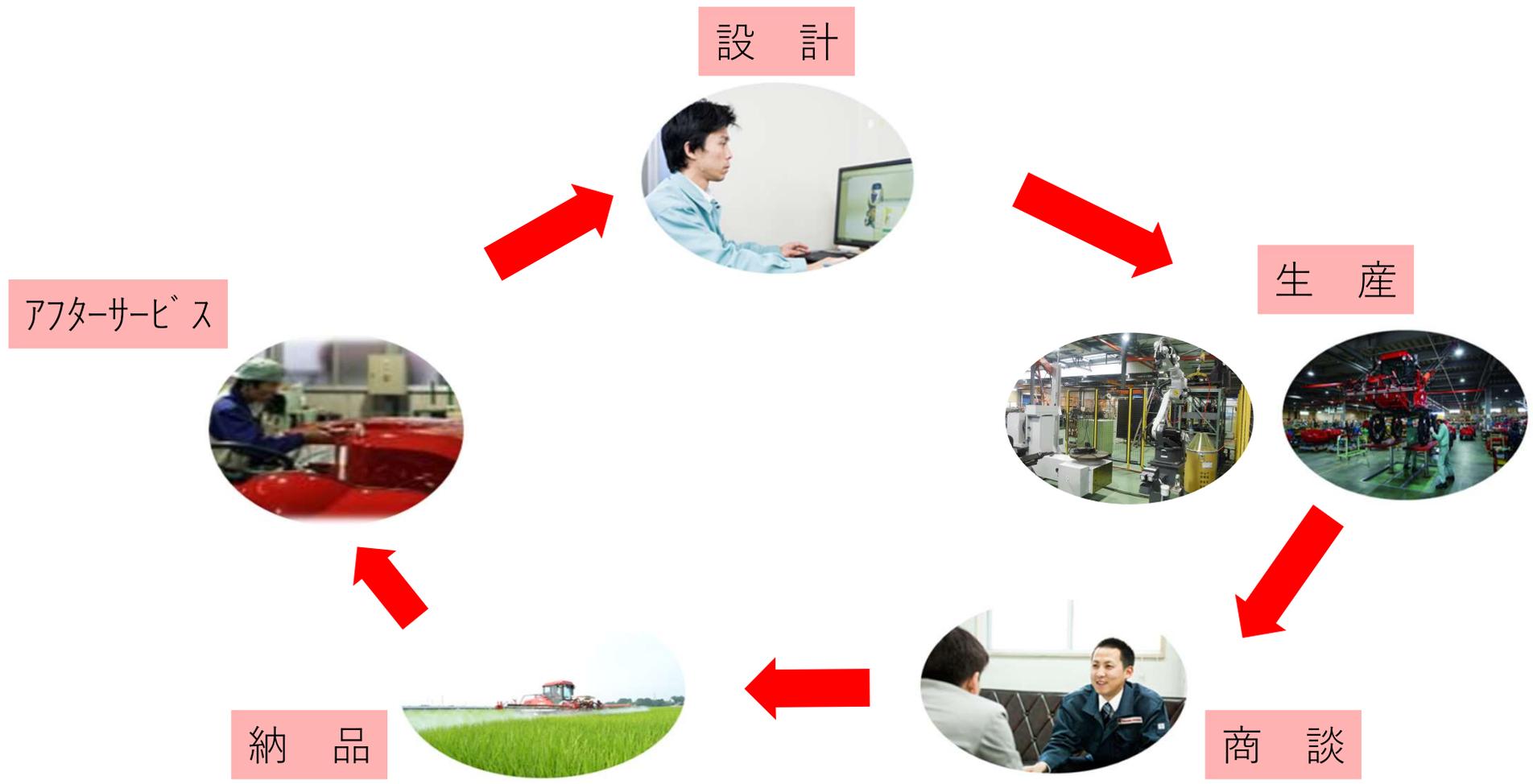
【中山間地】

エンジンを使用した製品



当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



当社製品に対する評価



中国市場向けの当社製品であるハイクリブームが市場の評価を受け、中国にて2つの賞を受賞いたしました。

第七回精耕杯



中国市場の評価を得て、中国に100社以上ある防除機メーカーの中から「ユーザーが最も信頼する防除機ブランド10社」に選ばれました。

高効施薬新設備貢献賞

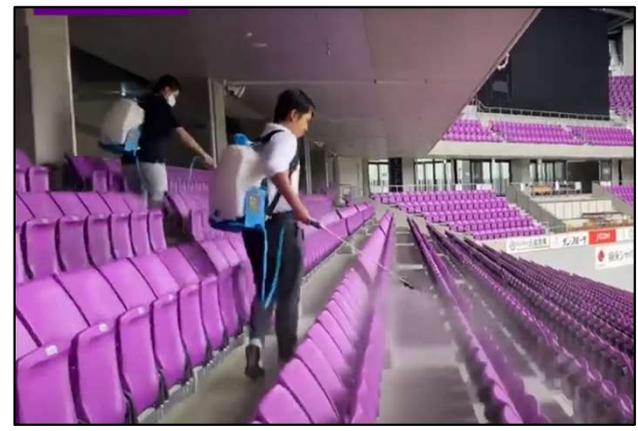


中国の防除機メーカー市場の評価を考慮し、特に優秀で高効率な防除製品に対し表彰される「年度高効施薬新設備貢献賞」を受賞しました。

ウイルス対策

当社のポンプ技術を活かし、国内・海外を問わず、
さまざまな場面で活躍しています

スタジアムの抗菌ウイルスコーティング



インドの街中を除菌散布するために
当社ハイクリブームが活用されました



新製品 ミストドーム

「TERMINATOR Z」

イベント会場や施設入口のウイルス対策に

日本製 ● 安心の国産ポンプ
MADE IN JAPAN を準備しています。

電源はAC100V。
家庭用コンセントが
あればどこでも使用可能。

使用可能人数	2250人
<small>(15Lタンクの散布目安)</small>	
<small>※1列に2秒間噴霧したときの目安</small>	

【主要セット内容】

ミストユニット	1 式
ミストノズル	1 式
薬剤タンク	1 式
設置フレーム	1 式
その他	

名称	MTZ602MD
門寸法(長×幅×高)	630×1090×1970mm
ノズル個数	4個
噴霧量	0.2L/min
操作	センサーによる自動噴霧・自動停止(最大2秒)
薬剤タンク	15L

農業活性化への取組み

- 農業女子と企業を結びつけることで農業の活性化を図る農林水産省主催「農業女子プロジェクト」に2013年から参画
- L(レディース)プロジェクトが中心となり、女性目線での女性のための製品の開発を推進し、他社とも共同し製品化を目指す

女子目線でバッテリー噴霧機を共同開発
- 農業女子PJコラボ第二弾 -



丸山の背負動力噴霧機 (バッテリー式)
農業女子の身から生まれた噴霧機

りりり
LS2200BLI-15

農業女子PJ
MARUYAMA

専任から開発内容をレビューする農業女子の皆さんにご協力いただきました。

女性の身なりを考えた
軽み設計

最高圧力 **2.0 MPa**
吸水量 **2.2 L/min**

エンジン並みの **ハイパワー**

お財布にも優しい
バッテリー式
一回の充電：約10時間稼働可能

最大 **300分** の運転が可能

タンク約5リットル 約75分稼働可能
タンク約3リットル 約45分稼働可能
タンク約1.5リットル 約20分稼働可能

充電時間 **160分**

千代田区で開催された
「丸の内農園」に出展



CSR活動

- 新型コロナウイルス感染症対策として、千葉県東金市に当社製品の人力防除機35台とフェイスガードシート300枚を寄贈
- 東金市は当社が1968年東金工場（現：千葉工場）を開設
- 地元企業として今後も地域社会に貢献できるように積極的に活動を行う

市内の小中学校や幼稚園・保育園、福祉施設などで
お役立ていただいております。



本日はありがとうございました

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp

次の100年を創る -All for the future-